



TITLE:

観測帳

AUTHOR(S):

中村, 要

CITATION:

中村, 要. 観測帳. 天界 1931, 11(122): 310-310

ISSUE DATE:

1931-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161669>

RIGHT:

観 測 帳

花山天文臺 中 村 要

珍しい新小遊星

獨逸ベルゲドルフ 天文臺の シュワスマン、ワハマン兩氏は去る 3月17日の原板から運動の大きな小遊星を発見した。21日に再観測し、23日にはハイデルベルヒ。27日にはベルゲドルフで眼視観測が行はれた。尙ほ19日には白ユツクル、23日には南露シメイスでも獨立して発見された。ベルリシ天文計算局の計算によると著しく長い軌道を示して居る。(傾斜 $33^{\circ}2'$, 離心角 214° , 平均運動642秒)1924年のガニメド星以來の珍小遊星である。

Pluto の古い位置 ローエル天文臺では1915年の3月及び4月に撮影した二枚の原板から Pluto の像を発見した。ローエルが超海王星の推算を發表したのは此の年であるから若し運がよかつたら其の年に発見して居たはずであつたが氣付かずに終つた。

大反射望遠鏡の計畫 カナダのトロント大學では Dunlop 夫人の寄附によつて Dunlop記念の天文臺を建説する由で、主望遠鏡たるべき 210センチの大反射望遠鏡はすでに英國グラツプ社に注文済みである。

リック天文臺のエロス観測 米國リック天文臺ではエロスの最近接時の前後 1月10日から2月25日まで Trumpler及びNeubauer兩氏が、Crossley 90センチ及び附屬の13センチ(焦點 45米)廣角カメラでエロスの視差の寫眞觀測を行つた。クロスレー鏡は視野の徑が僅か40分であるので比較星の選定に可なりの困難で、朝夕同じ比較星を使う事が出来なかつた。撮影には大氣屈折の影響を避ける爲に四全色乾板と色障子を使用し、單色寫眞を撮影した。露出時間は10秒

乃至30秒であつた。13センチ長焦點廣角カメラは43センチ角の乾板を使用し 5度平方を撮影する事が出来る。露出時間はイーストマン40の乾板で30秒露出すれば總ての規準比較星を撮影する事が出来た。撮影にはエロスで案内して一分おいて二回露出するとエロスは一個の點像となり、星はエロスの運動の爲に二つの像となつた。これと隣つて一回露出の像を二つ撮影した。90センチで27組73枚の原板と、13センチで24組の原板が得られた。

小遊星パルテノーペ 11號 Parthenope は7月3日に衝になる。其の時の光度は 8.7等であるが 6月始めから観測出来る。

1850年5月11日に de Gasparis が発見した比較的明るい小遊星である。推算位置は次表の通り。分點は1931年

6月4日	赤經19時	7.5分	赤緯 $-18^{\circ}13'$
12		3.2	$-18^{\circ}27'$
20	18	57.3	$-18^{\circ}47'$
28		50.1	$-19^{\circ}11'$
7月6	18	42.4	$-19^{\circ}38'$
14		34.8	$-20^{\circ}7'$
22		28.0	$-20^{\circ}36'$

1926f コマス・ソラ彗星の軌道 コペンハーゲンの P Julie M. Vinter Hansen は199箇の観測を使つて決定軌道を計算した、

元期1926年11月30.0日

T=1927年3月22.1929日

ω	38°	$27'$	$50.8''$
Ω	65	35	41.0
i	13	45	43.3
q	35	6	26.4
a	$= 4.17176$		
μ	$= 416.''416$		

Period 8.52094年

1935に回歸する。